

Council No.8

Japan Region

Newsletter

Vol.25 No.2 Jan. 2015

今期 Council のテーマ

「つなぐ」 ”Ties”

International	正しい選択 “The Right Choice” “Collect wisdom & a valuable change”
日本リージョンテーマ	「知恵を紡いで、価値ある変革」 “Collect wisdom & a valuable change”
サブテーマ	「頭に栄養、心に滋養」 “Nutrition in head, nourishment in mind”

会長挨拶 president

山内 昌子

カウンスル No.8 会長 山内 昌子

穏やかに新しい年が明け、今年度も折り返しの時を迎えています。

これまでの前半期、各クラブは、それぞれに充実したプログラムを楽しまれたことと思います。

後半期は、スピーチコンテストを初め、様々なプログラムを通して更にステップアップされ、他クラブ訪問によりお互いの理解を深めることを願っています。

4月25日（土）、カウンスル No.8 第2回会合は、シーサイドホテル芝弥生でスピーチコンテストが行われます。

久しぶりの懐かしい会場で、皆様にお目にかかれますことを楽しみにしています。



PREM 特集 「うちのクラブのおもてなし」

皆様、明けましておめでとうございます。

Newsletter No.2 の目玉は PREM 特集と銘打って「うちのクラブのおもてなし」。
カウンスル No.8 の各クラブの様々なおもてなしをご紹介します。

「東京クラブのおもてなし」

東京クラブ第二副会長

市橋 和子

お客様を笑顔でお迎えすることは勿論ですが、「特別にお客様扱いせず、クラブ会員と同じように接する」気持ちが東京クラブには受け継がれています。

ITC 未経験者には接待係が ITC についてお教えしますが、東京クラブの例会が如何に楽しいかを知って頂くために、お客様には会員と一緒にプログラムに参加し、考え、楽しんでいただく時間の共有こそが “うちのクラブのおもてなし” と考えております。

「筑波クラブのおもてなし」

筑波クラブ会長

松岡 美保

筑波クラブのおもてなしは何ととっても国際色豊かなゲストにあります。アメリカ、イギリス、オランダ、フランス、フィリピン、チュニジア、ロシア、ブルガリア等々何時も誰かしら外国人のゲストがあります。無いのは日本人のゲストだけ…。

そして最強のおもてなしは筑波クラブ第二副会長の小倉久美子会員です。

彼女の人材発掘の才能、お庭で育てた四季折々の花、お茶を進めるタイミング。小倉さんのおかげでさまざまな才能あるゲストをお迎えすることが出来ました。どちらかというとな彼女のおかげで私たちがおもてなしされているのが現状です。

「柏クラブのおもてなし」

柏クラブ第二副会長

木村 由利子

柏クラブではゲストをお迎えする場合、心掛けていることがある。

まず、会場の雰囲気作りのために、季節折々の花を飾りゲストをお迎えする準備をし、ゲストが到着されたら「ようこそお越し下さいました」と声をかけて挨拶をする。外部ゲストの場合は、会員が隣に座り、分かり難いビジネス用語について説明をする。

例会終了後は、ゲストから感想をお聞きするなどし、「参加して良かった」と思ってもらえるように配慮する。時にはお茶やお菓子を囲み和やかに談笑する。



「サンデークラブのおもてなし」 サンデークラブ会長 柴田 ひさ

会合の後のティータイム：

- * 緊張が解けた和やかな雰囲気の中でゲストの感想に耳を傾けつつ会員同志のコミュニケーション。
- * ゲスト及び会員へのフォローアップ：入会見込みゲストや欠席会員への声かけ、メールでのお知らせ。
- * 遠方の会員の駅⇔会場間の送迎。
- * スピーチの上手な人も程々の人も一生懸命に課題に取り組んでいる姿、これこそがサンデークラブのおもてなしの心だと思います。

「東葛クラブのおもてなし」 東葛クラブ副会長 前川 晃子

「お出迎え、お見送り、紹介、話しかけ、笑顔」がおもてなしのツールでしょうか。少人数クラブですから、全員が”おもてなし役”。準備にメンバーが忙殺される場合に備え、ゲストで来てくださる柏クラブの方に「話しかけ役」をお願いしたりもします。必殺隠しツールとしては、お菓子作りが上手な会員の「シフォンケーキ」や「フランス風マシュマロ」などが出ることも。Tファールの電気ポットを利用し、会場で熱い、淹れたてのお茶や紅茶をサーブするのも、おもてなしの一つです。……

「蕪崎クラブのおもてなし」

蕪崎クラブ議会法規役員

小松 万知代

- ・例会時には、季節の花を飾り、全員でゲストを温かく出迎え、交流します。程よい緊張感の中、例会を楽しみ、参加してよかったと思っただけできるよう、努めています。帰る際にも、再度訪問いただくよう、声掛けをしています。
- ・ゲストの隣席に会員を配置し、会の進行や内容をきめ細かく説明することで、活動の理解や関心を深めていただいています。
- ・ゲストの方にも、「今日の話題」の箇所でお話ししていただいたり、最後に感想を伺う等、参加型のスタイルとしています。
- ・例会プログラムの作成にあたっては、ゲストや新入会員にとって有効な学習機会となるパワートークや議事運営にかかわる用語解説等を多く盛り込むよう、配慮しています。
- ・新入会員には、少し慣れたところで、スピーチコンテストへの参加や役員への就任を奨励し、多様な経験を積むことで、一層の成長が図れるよう支援しています。

「彩玉のクラブのおもてなし」

彩玉クラブ第二副会長

小林 裕子

うちのクラブは、明るく笑顔が多いです。
初めてゲストが訪れたなら、その「笑顔」で緊張がほぐれ、プログラムでITCの楽しさが伝わることでしょう。
他クラブのメンバーがお出でなら、あっという間に積もった話が弾むでしょう。
時折、会場を彩るお花は、華やかで心を暖かくしてくれます。
そしてお帰りの際は、メンバーによるアーチでお名残を惜しんでいます。
今期より例会場所が消防署の上の新しい公民館に変わりました。
安心感、違います！

「うちのクラブのおもてなし」

横浜クラブ会長

饗庭 嗣祈子

「おもてなし」を人的要素と自然環境の二つに分けて考えます。人的おもてなしと言えば会員一同個性あるメンバーが揃っていることです。
「生き生き、のびのび、自然体で学ぼう」をテーマに自由に発言し、興味のあるプログラムを展開しています。自然のおもてなしは、横浜の異国情緒あふれる環境です。会場の大きな窓から横浜大栈橋方面が見え、霧笛も聞こえます。少人数ならではの臨機応変な運営、質の高いプログラムが誇りです。

「アクア千葉クラブのおもてなし」 アクア千葉クラブ第二副会長 和田 正枝

自宅の庭で咲いた花々や野山に分け入って採った烏瓜、時には懐かしい七五三のポックリや羽子板を飾りお客様を始め会員に季節を感じ喜んでいただけるよう毎月アイデアを出し合うのは会員委員会の楽しみです。初めての方には「入会して下さるかしら？」と期待すれども無理強いせず「いつでもお越し下さい。お客様は大歓迎です。」とにこやかに声をかけます。「さりげなく、でも心を込めて。」これがアクア千葉クラブおもてなしのモットーです。

『うちのクラブのおもてなし』 花巻クラブ第二副会長 伊藤 明美

こんにちは。カウンスルNo.8。2年目の花巻クラブです。私達は、喜ぶ心・喜ぶ学び・喜ぶ成果 be→do→have をテーマにして例会ではI T Cの原点からトレーニングの基本「参加して 体験して 学ぶ」を楽しんでおります。同じ目的を達成する為、言葉・想いを毎日のようにライン・メール等で共有し全員がお役に関わり知りたい事、知らない事など、対話を大事に連帯感を育てております。会員同士シェアがスムーズに出来ていることに感謝。チャーター間もない花巻クラブは、会員お互いをおもてなしする心を大切に、日々運営しております。皆が日々研鑽です。学べる喜びを与えてくれる ITC という場に感謝申し上げます。花巻クラブ、これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

如何でしたか？ 本当に各クラブ個性的なおもてなしをなさっていることが良く解り印象深かったです。是非一度実際にお伺いしてみたくになりますね。ご協力くださった各クラブの皆様、有難うございました。

編集長の独り言（蛇足）

原稿も集まり12月中に編集して新年早々には発行、のつもりが12月23日の夕方、突然パソコンが壊れた。データも取り出せず…。息子頼みのパソコン、彼の休暇を待って買いに行ったらさあ、セットアップ、と思ったら起動時の音が気になる、取り換える、と言っても、初売りは2日。やっとセットアップと思ったら息子がダウン。熱が下がるまで3日。やっと使えるようになったものの、機種を変えたおかげでキーボードの位置は違うわ、タッチは違うで四苦八苦。でも、新しいパソコンはメモリー大、パワーポイント装備。何より、発行が旧正月に間に合って良かった！！